学校訪問だより【3】 松本市立筑摩小学校

子どもたちの豊かな学びを願って

令和7年9月11日
中信教育事務所
文責：鳥居正人

７月２８日（月）に、松本市立筑摩小学校の「筑摩小学校おしゃべり会」に参加させていただきました。この会は、コミュニティスクールの推進に向けて学校職員と地域の方のつながりづくりを目的として、学校職員、地域の方、保護者、児童、行政職員など、様々な方が参加し、ワークショップを行いました。その様子を紹介させていただきます。

ワークショップの様子

話し合うテーマ【筑摩小学校の子どもたちに、どんな子に育ってほしいですか？】

【こんな子に育ってほしい思いや願いの共有】
★笑顔で楽しく、夢も持って
★何事にも挑戦できる
★元気いっぱいでポジティブに
★自分のことが好きで、大事にできる
★自分の考えや意見を言える
★人を大切にできる人になりたい
（児童の発言）

【願う子どもの姿のために活動のアイデアを共有】
★自分も楽しみながら笑顔で過ごす
★地域の人と交流する
★学校と地域が一緒にワークショップをしたり活動したりする
★周りを見て自分から行動する
（児童の発表）

【話し合いの様子】
○自分の考えを積極的に付箋に書くなど、「子どもたちに願う姿」が溢れ出ていました。
○一人一人が書いた付箋を見えるようにまとめ、お互いの考えを大切にしていました。
○たくさんの活動のアイデアが出て、一つ一つのアイデアに「いいねぇ！」と声が出ていました。
○笑顔があふれ、和気あいあいと、和やかな雰囲気で話し合いが進んでいました。
○自分の願いや思いを語る目はキラキラと輝き、積極的に発言していました。
○発言者の話に相づちを打ちながら真剣に聴く姿がありました。

コミュニティスクールを進めていく上での思い

教頭先生

★学校職員と地域の方がつながり、笑顔が増えるといいなぁ
★地域と一緒に活動し、子どもたちの学びが充実するといいなぁ
★コミュティルームを作って、交流の場を増やしたいなぁ
★つながりを大切にして、地域と学校のそれぞれの立場で子どもたちを育てたい

コーディネーター
清水さん

★子どもの思い、地域の皆様の思いを大切に、その思いを実現できるように、地域の方と共に歩みたい
★子どものやりたいことが実現できるように、関わっていきたい
★子どもの輝く未来のために、地域の様々な方と関わり、無理なく協働参画できるようにしたい

ワークショップでは、参加者同士が願いや思いを共有し、具体的な活動を考え、会話が途切れないほど大盛り上がりでした。参加者の皆さんの「筑摩小学校の子どもたちへの熱き思い」を感じました。さらに、ワークショップ終了後には学校職員と地域の方が立ち話で盛り上がっている姿もありました。

おしゃべり会を通してお互いの顔を知り、心のつながりができ始めたのではないかと思います。共通の目標やビジョンに向けて、関係性が築かれていくことが、きっと子どもたちの学びに大きな影響を与えるとともに、豊かな学びへとつながっていくはずです。

子どもたちがのびのびと、いきいきと活動に取り組めるよう、地域と学校がパートナーとなってより良い関係を築き、協力して活動し、子どもも大人も楽しく幸せな教育活動にしていきたいですね。